



株式
会社 中山製鋼所

証券コード 5408

第**122**期
(平成27年度)

中間報告書

平成**27**年**4**月**1**日から平成**27**年**9**月**30**日まで

CONTENTS

株主の皆様へ	P. 1
連結業績の推移	P. 3
連結財務諸表の概要	P. 4
トピックス	P. 5
会社の概要	P. 6

株主の皆様へ

平素は、格別のご厚情を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、平成27年度上半期（平成27年4月1日～平成27年9月30日）が終了いたしましたので、当社の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

平成27年12月

代表取締役社長

森田 俊一



事業の概況

当上半期におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和策などを背景に、企業収益や個人消費に改善傾向が見られるなど緩やかな回復基調で推移しました。

鉄鋼業界では、中国の高水準な生産のもとで輸出攻勢が一段と増したことから、海外市況はさらに低迷しました。これに伴い、輸入材の流入圧力は高まり国内鋼材市況の値下げ幅が拡大するなど、厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、鉄スクラップ価格の値下がりとともに、各部署での収益改善が実り成果をあげてまいりました。

【鉄鋼事業】

鉄鋼事業につきましては、鋼材販売数量の減少および販売価格の下落により売上高は減少しましたが、主原料である鉄スクラップや購入鋼片の価格が下落したこと、電力・ガス料金などのエネルギーコストが低減したことなどにより増益となりました。これらの結果、売上高は653億86百万円（前年同期比77億85百万円減収）、経常利益は20億64百万円（前年同期比2億10百万円の増益）となりました。

【エンジニアリング事業・不動産事業】

エンジニアリング事業につきましては、魚礁の受注が減少したことなどにより、売上高は8億42百万円（前年同期比22百万円減収）、経常利益は26百万円（前年同期比60百万円の減益）となりました。

不動産事業につきましては、賃貸収入を中心に安定した収益を確保し、売上高は3億54百万円（前年同期比42百万円増収）、経常利益は2億8百万円（前年同期比14百万円の増益）となりました。

以上の結果、当上半期の連結業績につきましては、売上高665億82百万円（前年同期比77億65百万円減収）、営業利益24億48百万円（前年同期比1億12百万円の増益）、経常利益21億99百万円（前年同期比3億13百万円の増益）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比8億58百万円減益の21億16百万円となりました。

当期の中間配当につきましては、単独業績において経常利益13億22百万円の黒字となりましたが、安定した黒字が見込まれるまで、誠に遺憾ではございますが、前期の期末配当に引き続き、無配とさせていただきます。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、中国をはじめアジアの鋼材市況の低迷による国内鋼材市況への影響や、鋼材市況の先安感に伴う鋼材需要への影響などから、先行きの不透明感が懸念されます。

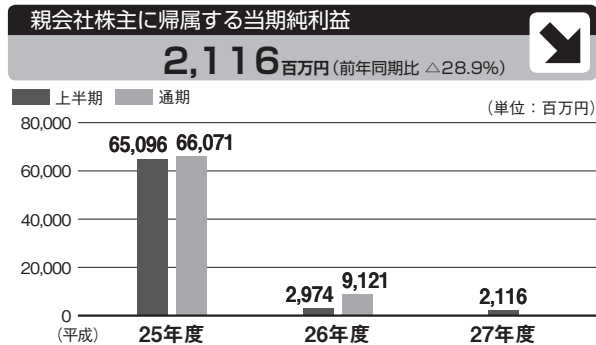
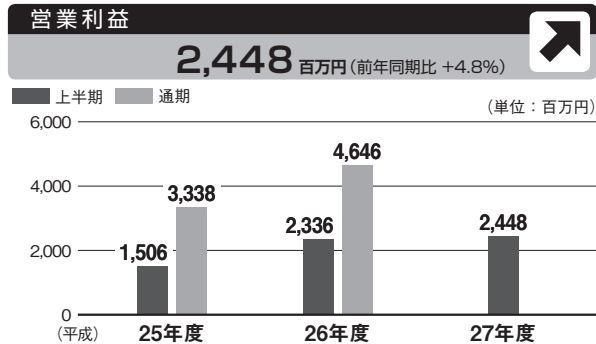
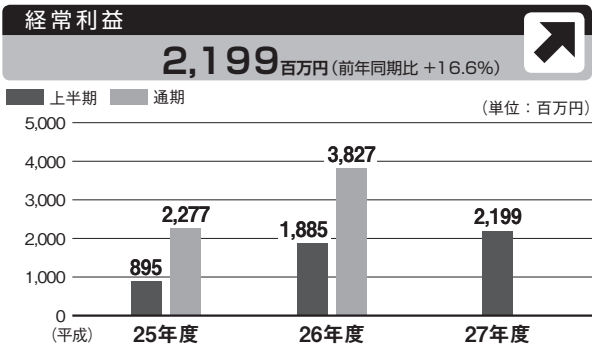
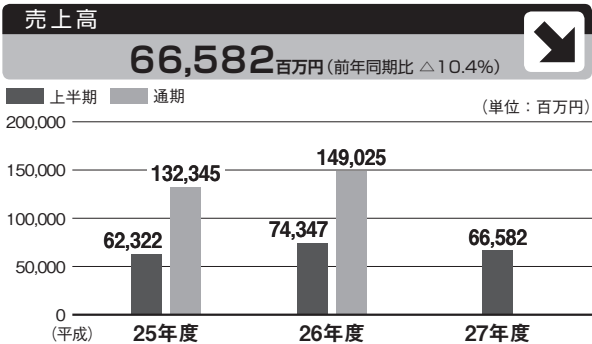
このような情勢のもと、当社グループは、為替を含む市況の変化に耐えうる強固な事業基盤を構築するとともに、グループ一体経営の強化および財務体質の改善により、引き続き事業再生の完遂を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、以上の諸事情をご賢察のうえ、今後とも何卒ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績の推移

(平成27年9月30日現在)

財産および損益の状況



区分	年度・期	平成25年度		平成26年度		平成27年度
		上期	通期	上期	通期	上期
1株当たり当期純利益	(円)	234.75	172.53	5.49	16.85	3.91
総 資 産	(百万円)	117,076	123,372	125,588	126,899	125,550
純 資 産	(百万円)	51,913	52,668	55,835	62,451	64,424
有 利 子 負 債	(百万円)	34,918	34,435	32,558	29,158	26,535

セグメント情報

(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	鉄鋼	エンジニアリング	不動産	計		
売 上 高	65,386	842	354	66,582	—	66,582
セグメント利益	2,064	26	208	2,299	△100	2,199

※金額については、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

連結財務諸表の概要

連結貸借対照表 (平成27年9月30日現在)

(単位: 百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	84,196	流動負債	26,733
現金及び預金	34,631	支払手形及び買掛金	20,098
受取手形及び売掛金	27,284	短期借入金	2,849
商品及び製品	11,162	未払金	1,168
仕掛品	2,150	未払費用	1,089
原材料及び貯蔵品	7,535	未払法人税等	227
繰延税金資産	699	賞与引当金	622
その他	845	その他	677
貸倒引当金	△112	固定負債	34,392
固定資産	41,354	長期借入金	23,686
有形固定資産	34,561	繰延税金負債	4,940
建物及び構築物(純額)	3,835	再評価に係る繰延税金負債	1,171
機械及び装置(純額)	5,803	環境対策引当金	124
土地	23,842	退職給付に係る負債	2,218
その他(純額)	1,080	負ののれん	1,023
無形固定資産	171	その他	1,227
投資その他の資産	6,621	負債合計	61,126
投資有価証券	3,618	(純資産の部)	
差入保証金	1,647	株主資本	60,170
その他	1,437	資本金	20,044
貸倒引当金	△83	資本剰余金	7,826
資産合計	125,550	利益剰余金	33,071
		自己株式	△771
		その他の包括利益累計額	4,253
		その他有価証券評価差額金	1,143
		土地再評価差額金	3,076
		退職給付に係る調整累計額	34
		純資産合計	64,424
		負債純資産合計	125,550

連結キャッシュ・フロー計算書 (平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

(単位: 百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,626
投資活動によるキャッシュ・フロー	△808
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,995
現金及び現金同等物の増加額	1,822
現金及び現金同等物の期首残高	32,789
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,611

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

(単位: 百万円)

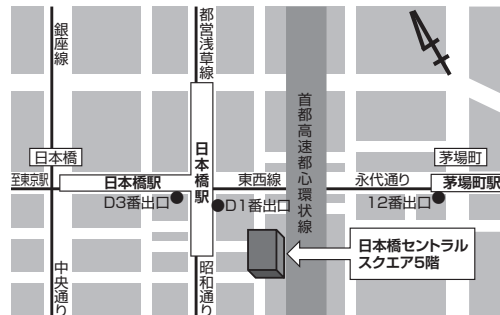
科 目	金 額
売上高	66,582
売上原価	59,019
売上総利益	7,563
販売費及び一般管理費	5,115
販売費	2,545
一般管理費	2,570
営業利益	2,448
営業外収益	279
受取利息	15
受取配当金	38
負ののれん償却額	92
持分法による投資利益	28
その他	103
営業外費用	528
支払利息	320
その他	207
経常利益	2,199
特別損失	207
固定資産売却損	118
関係会社株式評価損	69
固定資産除却損	15
減損損失	3
税金等調整前四半期純利益	1,991
法人税、住民税及び事業税	232
法人税等調整額	△356
四半期純利益	2,116
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,116

トピックス

東京支店開設

本年6月、当社は関東および東北での営業活動を強化する目的で、東京支店を開設いたしました。

入居ビルの同じフロアには、連結子会社の中山三星建材(株)および三星海運(株)の各東京支店があり、また、至近には中山通商(株)東京支店もあります。グループ一体経営の強化による総合力を発揮して、従来からの顧客へのサービス強化のほか、東京オリンピック関連や東日本大震災の復興需要など、拡大する東日本市場での需要に対応してまいります。

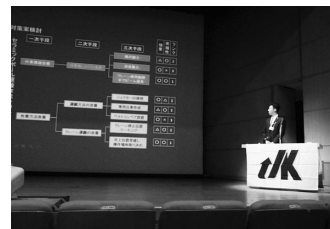


一般社団法人日本鉄鋼連盟主催

第77回自主管理活動発表大会「感動賞」受賞

本年9月、日本鉄鋼連盟主催の第77回自主管理活動発表大会が神戸市において開催されました。鉄連会員各社の製造拠点で自主管理活動（JK活動）を展開する各グループ、約450名が参加し、1年間の取り組みと成果を発表しました。当社は熱延工場が発表を行い、「感動賞」を受賞いたしました。

今後もJK活動を通し、現場力の向上を目指してまいります。



地元公道の清掃活動

当社では、良き企業市民としての責任を果たすために、平成4年から社屋前の公道をはじめ、地元の大正通りの清掃ボランティアを定期的に実施しております。

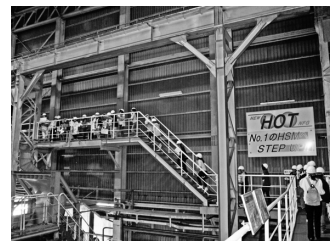
今後も継続して環境保全に積極的に取り組み、社会貢献に努めてまいります。



小学生工場見学の実施

当社では、社会貢献活動の一環として、小学生が鉄鋼業に接し、鉄の魅力を学べる機会を増やすために、工場見学の受け入れを実施しております。

本年11月、大阪府・京都府の小学校2校から延べ130名の小学生が、社会科の工業学習のため当社の熱延工場を訪れました。鉄の製造工程のほか、身近な生活の中で鉄がどのように役立っているかなど学習していただきました。



会社の概要

(平成27年9月30日現在)

■■■ 会社設立 大正12年(1923年)12月22日

■■■ 資本金 20,044,777,066円

■■■ 主要な事業内容

鉄鋼事業

鋼材 鋼板 熱延鋼帯、厚板、中板、縞板、鍍金鋼帯
条鋼 線材、バーインコイル、棒鋼、軽量C形鋼、パイプ

鋼片、副産物等

エンジニアリング事業

海洋(鋼製魚礁・増殖礁)、ロール、バルブ、機械加工等

不動産事業

不動産の賃貸・売買

■■■ 主な事業所

[本社・船町工場]

〒551-8551 大阪市大正区船町一丁目1番66号

電話／06-6555-3111(総合案内) FAX／06-6555-3170

[東京支店]

〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目16番11号

日本橋セントラルスクエア 5階

電話／03-5204-3070 FAX／03-5255-8355

※平成27年6月1日 開設(旧東京営業所を移転しました。)

[名古屋営業所]

〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目22番8号

大東海ビル 8階

電話／052-571-7222 FAX／052-571-8105

■■■ 従業員の状況

連結 1,116名 単体 454名

■■■ 会計監査人 有限責任 あずさ監査法人

■■■ 連結子会社 (6社)

中山三星建材株式会社、中山通商株式会社、三星商事株式会社
三星海運株式会社、中山興産株式会社、三泉シヤー株式会社

■■■ 持分法適用会社 (1社)

日鉄住金ボルテン株式会社

■■■ 株式の状況

発行可能株式総数 700,000,000株

発行済株式の総数 630,792,561株

株 主 数 11,831名

大株主(上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
新 日 鐵 住 金 株 式 会 社	107,087	17.04
阪 和 興 業 株 式 会 社	80,585	12.83
日 鉄 住 金 物 産 株 式 会 社	54,085	8.61
大 和 P I パ ー ト ナ ー ズ 株 式 会 社	54,085	8.61
エ ア ・ ウ ォ ー タ ー 株 式 会 社	47,298	7.53
中 山 三 星 建 材 株 式 会 社	25,194	4.01
中 山 通 商 株 式 会 社	22,664	3.60
三 星 海 運 株 式 会 社	19,471	3.10
三 星 商 事 株 式 会 社	19,337	3.07
大 阪 瓦 斯 株 式 会 社	19,230	3.06

(注) 持株比率は自己株式(2,693,066株)を控除して算出しております。

■■■ 取締役および監査役

代表取締役社長	森 田 俊 一
専 務 取 締 役	箱 守 一 昭
常 務 取 締 役	中 村 佐知大
監 査 役(常 勤)	今 井 武
監 査 役	福 西 惟 次
監 査 役	川野辺 弘 文

■■■ 執行役員

常 務 執 行 役 員	守 屋 隆 男
執 行 役 員	内 藤 伸 彦
執 行 役 員	齋 藤 日出樹
執 行 役 員	角 野 康 治

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領 株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座 管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告 http://www.nakayama-steel.co.jp/ ただし、電子公告によることができない 事故その他のやむを得ない事由が生じた ときは、日本経済新聞に掲載して行う。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ 単元未満株式(1～999株)の買取・買増制度のご案内

当社では、市場でお取引できない単元未満株式(1～999株)の買取制度および買増制度を採用しております。手数料は無料ですので、ぜひご活用ください。

※買取制度：ご所有の単元未満株式(1～999株)を当社が市場価格で買い取らせていただく制度です。

買増制度：単元未満株式をご所有の場合に、あわせて1,000株にするのに必要な株式を当社から市場価格で買い増しすることができる制度です。

特別口座で株式をご所有の株主様へ

2009年1月5日から実施された株券の電子化に際して、株式会社証券保管振替機構（株券を証券会社を通じて「ほふり」に預託）をご利用されなかった当社株式につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に開設された「特別口座」にその内容が記録されました。

特別口座においては、単元未満株式の買取および買増をご利用の場合を除き、株式を売買することができませんので、特別口座で株式をご所有の株主様におかれましては、ご所有の当社株式を証券会社のお取引口座へお振替えされることをおすすめいたします。

【お問い合わせ先】

＜証券会社等の口座に株式をご所有の株主様＞

口座を開設されている証券会社等

＜特別口座で株式をご所有の株主様＞

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部



**NAKAYAMA
STEEL WORKS, LTD.**

<http://www.nakayama-steel.co.jp/>



この冊子は環境に配慮した植物油インキを使用しています。